

千葉教育

菊

令和3年度
No.670

千葉の子どもたちの未来のために

特集

学習指導と評価

○シリーズ 現代の教育事情

國學院大學人間開発学部初等教育学科教授

田村 学

文部科学省初等中等教育局教育課程課

県教育庁教育振興部学習指導課

○提 言

東京大学名誉教授

市川 伸一



千葉県総合教育センター

◆学校自慢	姉高、次なるステップへ	県立姉崎高等学校校長	加瀬 直人
◆提言	新教育課程のねらいと学習評価	東京大学名誉教授	市川 伸一…2
シリーズ 現代の教育事情 学習指導と評価			
■子供の姿を確かに見取り評価する評価規準の言語化	國學院大學人間開発学部初等教育学科教授	田村 学…4	
■新学習指導要領の趣旨の実現に向けた学習評価の改善について	文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室長	石田 有記…6	
■観点別評価のポイントと評価の総括について	県教育庁教育振興部学習指導課	8	
私の教師道			
■学校を創る	お互いを案じ合える学校を目指して	流山市立北部中学校校長	大館 昭彦…10
■学校を支える	新任時代～2年目の決意「集うことの価値を求めて」	浦安市立富岡中学校教頭	鈴木 勉…12
■学校を動かす	「横芝っ子」の成長のために	横芝光町立横芝小学校主幹教諭	向井田崇央…14
■子供を知る	一人一人との会話を大切に	富津市立青堀小学校主事	岡野 拓未…15
■子供を知る	教員として大切にしていること	県立安房特別支援学校鴨川分教室教諭	高橋 柚子…15
■授業を創る	自己肯定感を高める通級指導教室における評価の在り方	八千代市立萱田小学校教諭	割柏千津子…16
	数学のよさを感じられる課題学習の授業実践例	県立八千代西高等学校教諭	岩井 剛…18
活・研究			
■令和2年度長期研修生の研究の概要		令和2年度長期研修生…20	
ケーススタディ			
■授業時における事故と法的責任		和洋女子大学特任教授	柴内 靖…24
幼児教育の現場から			
■地域に親しみ、小学校教育へとつなげる幼児教育の在り方～鴨川の海をテーマにした実践を通して～	鴨川市教育委員会学校教育課主査／鴨川市健康福祉部子ども支援課主査（前鴨川市立江見認定こども園長）	鎌田 悦子…26	
教育の情報化			
■情報セキュリティについてー1人1台端末と情報セキュリティー	県総合教育センターカリキュラム開発部メディア教育担当…27		
情報アラカルト			
■県立特別支援学校の教育環境改善を目指してー東葛飾地域に「県立東葛の森特別支援学校」新設ー	県教育庁教育振興部特別支援教育課…28		
■県立現代産業科学館 令和3年度企画展「カ・ラ・ク・るー歯車が伝える動きー」	県立現代産業科学館…30		
■県立中央博物館大多喜城分館 令和3年度企画展「兜とカブト」	県立中央博物館大多喜城分館…31		
チーム学校の仲間たち			
■つながりを大切に	いすみ市立大原中学校養護教諭	鈴木 教予…32	
学校 NOW！			
■我が校の実践	学力向上の取組～振り返りにより「学びの自覚化」を促す実践を通して～	市原市立千種中学校…34	
■学校歳時記	町内5校の連携による12年間を見通した教育課程の研究開発ー農業科・町民科の試みー	千葉大学名誉教授 天笠 茂…36	
◆発信！特別支援教育	各教科等を合わせた指導における、子どもが主体的に活動できる確かな授業づくり～学習評価に基づく授業改善を通して～	県立千葉特別支援学校教諭 大澤 裕子…38	
◆千葉歴史の散歩道	千葉県立安房南高等学校旧第一校舎の魅力と歴史ーその2 文化財としての近代建築ー	県教育庁教育振興部文化財課文化財主事 小出麻友美	

道 標

平成31年1月、中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会は、新学習指導要領の下での学習評価の重要性を踏まえた上で、その基本的な考え方や具体的な改善の方向性について述べた「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」を取りまとめ、これを受けて、文部科学省は、同年3月に「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」を発出した。また、令和3年1月には中央教育審議会が『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別

最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」を取りまとめ、文部科学省は、同年3月に「学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料」を公開した。

このような中、各学校においては、新学習指導要領の全面実施の進行に伴い、「指導と評価の一体化」に努めながら、児童生徒のよりよい成長を目指した指導を進めているところである。本号では、学習指導と評価にどう取り組んでいけばよいのか、改めてその在り方について考えていきたい。